（様式１）

県立麻生高等学校【総合的な探究の時間の全体計画】（令和７年度）

総合的な探究の時間の第１の目標

探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。
(2) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
(3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

学校の教育目標

確かな学力・豊かな人間性・健やかな心身の育成と常に変化する社会に対応できる能力と創造力を養うとともに、生徒の幅広い学習ニーズに対応した教育課程により、国公立大学進学、公務員内定などを目標に捉えた進路希望の実現を目指す。

各学校で定める目標と育成する資質・能力

意欲を持って学習や学校生活に取り組み、主体性や社会性を身に付け、社会のリーダーとして貢献できる人材の育成

・至誠勤勉：何事にも誠実に一生懸命取り組むことができる

・自治剛健：強い心を持ち、物事を自らの意志により実行することができる

・和衷協同：目標達成のために、仲間を認め協力し合うことができる

総合的な探究の時間の学習評価

〇目分の考えを適切に表現し、伝達している。

・ポスターの内容の分かりやすさ、発表のパフォーマンスなどを評価の対象とする。

〇目標を設定し、課題の解決に向けて主体的に取り組んでいる。

・クループ学習での話し合いにおける積極性を評価の対象とする。

〇自らの進路を考え、進路の実現に向けて強い意志を持ち、実現のために努力している。

・１年次の「文系か理系か」、２年次の「修学旅行について」「進路について」におけるグループ学習での積極性、ポスター内容の分かりやすさ、発表のパフォーマンスなどを評価の対象とする。

生徒の実態

・素朴で何事にも素直に取り組む性質を持っている。
・主体的に学習することや、自らの考えや判断に基づいて表現することが苦手である。
・時として、コミュニケーションのつまずきで人間関係に悩む生徒が出ている。
・やや積極性に欠ける生徒がいる。

生徒の発達をどのように支援するか
〇配慮を必要とする生徒への指導

・理解が多少遅い生徒に対しては、図や写真を用い、丁寧な説明や個別に対応するなどの配慮をする。

目指す生徒の姿

学校や社会の規範を守って日常生活を送ることができ、自らの学習活動ばかりではなく、学校行事、生徒会活動、部活動ボランティアなどに積極的に取り組む意欲のある生徒。

各学校が定める内容（目標を実現するにふさわしい探究課題、探究課題を通して育成を目指す具体的な資質・能力

(1) 知識及び技能
インターネットや各種の媒体を通して、各教科の知識に加え、郷土や修学旅行訪問先等に関する知識を得たり、オープンキャンパスや会社訪問等を通して希望する進路の必要な情報等を集めることができる。

(2) 思考力・判断力・表現力
収集した情報や資料を基にグループ内で意見の交換、情報の取捨選択を行い、多様な考え方や体験を尊重しながら、グループとしての意見をパワーポイントやポスターにまとめ、スライドや電子黒板、パネルを活用して発表することができる。

(3) 学びに向かう力、人間性等
発表や質疑応答を通して、他のグループとの意見の違いを理解しながら、全体の目標達成のために、仲間を認め協力しあうことができる。

学習活動、指導方法等

〇グループで情報収集
・Ipad を使用して、インターネットで情報収集をする。
〇グループで話し合い
・１０名程度で班を作り、話し合いをする。
〇中間発表
・各班でパワーポイントを活用し、発表を行う。
〇Ａ２判のポスターの制作
・パソコンを利用して制作し、大判プリンタでプリントする。
・予めポスターの枠（雛形）を作っておき、生徒はその枠内に研究事項を入力するだけであるが、必要に応じてポスターのデザインや色は変えても良い。
〇発表（７分間）、質疑応答（３分間）
・体育館（または格技場）に全ての班のポスターが掲示できる分のパネルを立て、ポスターを掲示し、班毎にブースをつくる。
・発表者１名、補佐２名で発表を行い、ローテーションを組んで、発表者と補佐は交代をする。１時間のうちに３～４回発表を行う。
・発表をしていないときの生徒は、同時進行で行われている他の班のポスターを見て回り、発表を聞き、質疑やアドバイスをする。
・発表者と補佐は質問内容やアドバイスをメモし、次回に役立てる。

指導体制（環境整備、家庭・地域との連携）

総合的な探究の時間運営委員会
【（教頭）、教務部（主任＋１名）、進路指導部（１名）、１学年（主任＋１名）、２学年（主任＋１名）、３学年（主任＋１名）】
… 新学習指導要領改訂に向けた動向を注視しつつ、適宜内容や評価の改善に取り組んでいる。

ゲストティーチャーと連携 … 市長講話（行方市）など